

＜バイオ燃料検討会の提言＞

- ＜提言1＞ 脱炭素に向けた社会的ネットワーク構築
- ＜提言2＞ バイオエタノールの原料となる素材の研究・利用の拡大
- ＜提言3＞ 自動車用燃料のエタノール利用におけるE10の実現
- ＜提言4＞ コメを原料とするバイオエタノールの国内生産
- ＜提言5＞ 脱炭素社会を目指した意識改革と教育の充実

<提言1> 脱炭素に向けた社会的ネットワーク構築

脱炭素に向けて、人々は**どのように生活様式を変えていけばいいか**、節水や節電、食品ロス等の具体的な取り組みの輪を広げるために、幅広い社会的ネットワークを構築する。

<提言2> バイオエタノールの原料となる素材の研究・利用の拡大

バイオエタノールの原料となる植物の生産性向上のための**研究開発投資**を推進し、一方で、**食物残渣や廃油利用**を効率的に行うためのシステムを確立する。

<提言3> 自動車用燃料のエタノール利用におけるE10の実現

日本での自動車用燃料のエタノール利用において少なくとも**10%の混合(E10)を推奨**することで、エタノール利用率を向上させる。

<提言4> コメを原料とするバイオエタノールの 国内生産

耕作放棄地等を活用し、高収量品種の導入等でコメの生産コストを削減、さらに流通インフラ等を整備し、コメを原料とする国内でのエタノール生産を推進する。

<提言5> 脱炭素社会を目指した意識改革と教育の充実

脱炭素社会に向けて、人間社会を持続可能にするような生活様式に切り替える必要があるが、そのために、世代を超えて**脱炭素の意義**を理解し実践する**教育体制**を整える。